

(5年担任 長瀬 登夢)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月														
DCA サイクルの計画 全学年共通の計画	R5 校内研究のまとめ ※年度末算数決定	R6 ※年度の公開に向けて、みんなでGO! 4月・5月にはまずここへ ① 算数把握 「日常の授業」「NPT」 ② 校内研究 「めざす姿の姿」「めざす授業像」など ※年度末算数決定	授業研究① (小石研) ふり返り 研究結果と課題①	ふり返り 研究結果と課題① ※年度末算数決定	授業研究② (大石研) ふり返り 研究結果と課題②	ふり返り 研究結果と課題② ※年度末算数決定	授業研究③ (大石研) ふり返り 研究結果と課題③	ふり返り 研究結果と課題③ ※年度末算数決定	授業研究④ (大石研) ふり返り 研究結果と課題④	ふり返り 研究結果と課題④ ※年度末算数決定	授業研究⑤ (大石研) ふり返り 研究結果と課題⑤	ふり返り 研究結果と課題⑤ ※年度末算数決定	授業研究⑥ (大石研) ふり返り 研究結果と課題⑥														
DCA サイクルを機能させるために、自分ができそうなことは・・・ ① どこを ② どのように 具体的な手立てを!	5月時点で、 自学級について分析ね ↓ 分析したことを言葉・数式で表す ↓ つながり、整理するね (7月)	学級の強みは! 「図形」→題意をとらえ、習ったことを的確に使って問題を解ける。 「数と計算」→基礎的な計算が的確かつスムーズにできる。	学級の課題は・・・ 「データの活用」→変化を予測し、グラフや表から読み取れることを表現することが苦手。 「数と計算」→文章題で、題意を把握し、正しく立式することが苦手。	課題を解決するための授業改善 課題となっている分野については、具体→半具体の順に提示し、考え方の基本を身に付ける。思考の手助けとして、算数の見方・考え方を提示する。	見方・考え方 子ども向け表現 <table border="1"> <thead> <tr> <th>見方・考え方</th> <th>子ども向け表現</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見方</td> <td>～に注目する(2、3、4年)～に着目する(5、6年)</td> </tr> <tr> <td>単純化</td> <td>かんたんな場合で考える</td> </tr> <tr> <td>一般化</td> <td>いつでもいえるか考える</td> </tr> <tr> <td>簡潔・明瞭</td> <td>わかりやすく表す</td> </tr> <tr> <td>類推</td> <td>同じように考える</td> </tr> <tr> <td>帰納</td> <td>さまりを見つける</td> </tr> <tr> <td>演繹</td> <td>わかっていることをもとに考える</td> </tr> <tr> <td>統合</td> <td>同じところを見つけてまとめる</td> </tr> <tr> <td>発展</td> <td>広げて考える</td> </tr> <tr> <td>日常生活</td> <td>生活にいかす</td> </tr> </tbody> </table>	見方・考え方	子ども向け表現	見方	～に注目する(2、3、4年)～に着目する(5、6年)	単純化	かんたんな場合で考える	一般化	いつでもいえるか考える	簡潔・明瞭	わかりやすく表す	類推	同じように考える	帰納	さまりを見つける	演繹	わかっていることをもとに考える	統合	同じところを見つけてまとめる	発展	広げて考える	日常生活	生活にいかす
見方・考え方	子ども向け表現																										
見方	～に注目する(2、3、4年)～に着目する(5、6年)																										
単純化	かんたんな場合で考える																										
一般化	いつでもいえるか考える																										
簡潔・明瞭	わかりやすく表す																										
類推	同じように考える																										
帰納	さまりを見つける																										
演繹	わかっていることをもとに考える																										
統合	同じところを見つけてまとめる																										
発展	広げて考える																										
日常生活	生活にいかす																										
課題解決のため授業改善(授業研で提案したいこと・日常の取り組みなど)	見方・考え方の提示 「どう考えたらいいかわからない・・・。」 と思考が止まっていた児童の思考を促すことができた。	キーワードや数値を色分けし、立式させる 漠然と見えた数字や言葉に食いつくことが減り、題意を的確にとらえることができた。	具体や半具体を用いた掲示物や導入教材の継続的な掲示 苦手意識を持ちやすい領域については、特に導入の具体物の提示を工夫し、丁寧に半具体→数理的処理と移行していった。その際、提示したものを継続的に掲示しておくことで、ふりかえりや既習内容の活用を促すことができた。																								
取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(8月)	取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(12月)	取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(年間反省)																									
具体物の操作を通して、計算の意味や、考え方を理解させることができた。児童が思考する際、いつでも自由に使えるような教具セットを教室に準備し、思考の手助けとして活用できるようにしたい。 算数の見方・考え方の提示は、教科書に記載されているものを、教科書に記載されているタイミングでしか提示できなかった。児童は毎時間思考しているのに、教材研究をさらに綿密に行い、教科書+αの思考補助を心がけたい。	8月までの反省を踏まえ、今回は積極的に見方・考え方の提示を図った。児童が見方・考え方を活用して思考している場面も増えてきており、見方・考え方を積極的に提示した効果があつたと考える。 児童が自由に使える教具セットを常備することはできなかった。単元計画を工夫し、児童自身の意思で「選択する」ことができる場面を増やしていきたい。	学級の強みの部分を伸ばしつつ、課題となっているところの「解き方」や「思考の流れ」を丁寧に指導することを心がけた。前学年の内容に戻りながらの指導になることもあったが、着実に学習内容が積み重なってきている。特に思考について手立てを講じることが多い1年だった。理解の早い児童には、より多くの問題に触れる機会を用意し、どのような問われ方であっても、もっている知識を的確に使えるように指導した。理解に時間のかかる児童については、思考の流れを道筋として繰り返し示し、パターンとして考え方を身に付けられるように指導することができた。																									